

社団法人日本自閉症協会
奈良県支部ニュース

絆

きずな

第71号 1月号
購読料1部100円
(会員は会費に含まれています)



発行：社団法人日本自閉症協会 発行責任者：宍戸良朗
支部長&事務局：河村舟二 〒639-1055 大和郡山市矢田山町84-10
TEL&FAX 0743-55-2763

<http://www.eonet.ne.jp/~asn/>

新年おめでとうございます

謹んで新年のお慶びを申し上げます。今年もよろしくお祝い申し上げます。

昨年は「支援費制度」「障害者基本計画」と「障害者プラン（重点施策実施5か年計画）」、「アジア太平洋障害者の十年」「特別支援教育」「自閉症・発達障害支援センター」など多くの施策計画が示されました。

そんな中で、昨年暮れ、グループホーム支援費の減額が持ち上がり、厚労省と小規模作業所関係団体代表との緊急交渉が行われました、12月17日には知的障害者関係団体の素早い抗議と厚生労働省への直接交渉によって、このグループホーム単価見直し案・ホームヘルプ単価見直し案は白紙撤回されました。奈良県からも関係の皆様が参加されたと聞いております。

このような状況下、自閉症・発達支援センターの全国整備につきましても、予算削減や廃止等の問題が発生するかもしれませんが、予断がゆるされません。日本自閉症協会奈良県支部としましても、自閉症の理解と特性に応じた支援体制を持つ、奈良県自閉症・発達支援センターの早期実現を目指し、県に働きかけていかなければなりません。そのためにも、年明け早々ではありますが、会員の皆様方には早急に、ご家庭のお子様の現状をもとに、自閉症児者のくらしやすい奈良県のあり方、自閉症児者ご本人の将来の計画等について、各自ご考察の時間をとってまとめていただき、支部として動かなければならないことなど、ご意見やご要望を各部会や役員会の場にどしどしお寄せください。

支部長 河村舟二



☆最近の動き (本部 HP から)

☆自閉症・発達障害支援センターの設置について
要望書を提出しました。

Date: 2003-12-27 (Sat)

自閉症・発達障害支援センターの設置については、センターがスタートした平成 14 年度より毎年 8 ケ所ずつ増設されていましたが、平成 16 年度政府予算案においては 4 ケ所増の計 20 ケ所に査定されています。

日本自閉症協会は、全国各地で自閉症の人やその家族への支援の拠点として今後の活動と展開が大きく期待されている自閉症・発達障害支援センターの早急な整備を求めて 12 月 26 日に厚生労働大臣宛に要望書を提出しました。

<http://www.autism.or.jp/topixdata/20031226youbousyo.pdf>

☆ 特別支援教育推進に関するアンケート調査の実施

Date: 2003-12-23 (Tue)

日本自閉症協会では、全国 LD 親の会、NPO 法人えじそんくらぶと共同で、47 都道府県の教育委員会に対して「特別支援教育推進に関するアンケート」を実施します。このアンケート調査は、特別支援教育について「サービスを受ける側の立場から」モニタリングを行うもので、今後毎年継続的に実施していく予定です。

☆アンケートの概要

アンケート実施日：2003 年 12 月 18 日（木）
47 都道府県の教育委員会にアンケート用紙発送済み：アンケート回答期限：

2004 年 1 月 23 日（金）

アンケート項目の概要：

- (1) 平成 15 年度から実施している「特別支援教育推進体制モデル事業」の進捗状況
 - (2) 特別支援教育に対する推進施策
 - (3) 特別支援教育推進に関するその他の質問
- ・アンケートの結果については、3 団体を通じて、提供・公表する予定です。
- ・アンケート調査用紙をこちらからダウンロード出来ます。

(各教育委員会に 12 月 18 日にお送りした調査用

紙と下記のダウンロード用ファイルとの内容が違っておりました。深くお詫び申し上げます。各教育委員会の皆様には 12 月 24 日に再度差し替えの調査用紙を発送させていただいております。ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。)

<http://www.autism.or.jp/topixdata/sse%20chosa200401.xls>



☆ 平成 16 年度政府予算案内示

Date: 2003-12-23 (Tue)

国の平成 16 年度予算案については、12 月 20 日閣議決定され、各省庁に内示されましたが、その中で、自閉症・発達障害支援センターについては、次のように査定されました。

厚生労働省要求ヶ所数

財務省査定ヶ所数

平成 15 年度 16 ケ所→平成 16 年度 24 ケ所 (8 ケ所増) →平成 16 年度 20 ケ所 (4 ケ所増)

自閉症・発達障害支援センターは、平成 15 年度中に、既に 19 ケ所が指定されています。

来年度、新規に指定される枠は、残り 1 ケ所となります。

ただし、今年度も予算枠を越えて申請したところは全て指定されていますので、来年度における各県からの申請の状況によっては、どのように運用されるか不明です。

☆ホームヘルプとグループホームについて⇒概算要求額を超える額が確保される。

☆小規模作業所（通所援護事業）⇒前年度比一割削減

☆小規模通所授産施設⇒172 カ所増 補助金単価 1100 万円⇒1050 万円 (50 万円減額)

1) 平成 16 年度障害保健福祉関係当初内示の概要

<http://www.autism.or.jp/topixdata/20031226yosannaiji/20031226naiji-1.htm>

2) 平成 16 年度障害福祉課予算 (案) の概要

<http://www.autism.or.jp/topixdata/20031226fukusikayosanan/20031226-1.htm>

3) 平成 16 年度障害者雇用施策関係予算内示の主要事項

<http://www.autism.or.jp/topixdata/>

20031226syuyoujikou/20031226-1.htm

☆ ホームヘルプ単価見直し案も白紙撤回

Date: 2003-12-17 (Wed)

午前中のグループホームの見直し案の話し合いに続いて午後からは「障害者（児）の地域生活のあり方に関する検討会」の障害当事者7団体と厚生労働省障害福祉課との話し合いが行われグループホーム単価見直し案に続きホームヘルプ単価見直し案も白紙撤回されました。

☆ グループホーム補助金2割削減を撤回

Date: 2003-12-17 (Wed)

本日(12月17日)午前10時より標記の件について、知的障害者関係5団体(横浜市グループホーム連絡会、DPI、ピープルファースト、大阪のグループ、全国グループホームスタッフネットワークら)が厚生労働省と直接交渉を行い、高原障害福祉課長は、「白紙撤回する。今後のことは当事者の方たちと話し合いながら進めていく。」と述べた模様。この件に関する厚生労働省からの連絡はまだ入っていませんが、正式な情報が入り次第追ってご報告します。関連記事

<http://www.mainichi.co.jp/news/flash/seiji/20031217k0000e010072000c.html>

☆ グループホーム支援費の減額について

Date: 2003-12-12 (Fri)

グループホーム支援費の減額について

平成16年度におけるグループホームに対する支援費について、予算額の不足を理由に「区分1」にかかる支援費を大幅に減額する案が検討されています。

「区分1」は、重度の方のためのホームであり、自閉症者が入居しているところが減額の対象になるものと思われます。

減額の第一は、二人目の世話を非常勤職員にし、その分の人件費を削減するものです。

第二は、「区分1」の対象ホームを世話人が2名以上配置されているか、又は住み込みの世話人がいるホームに制限するものです。

(下記文書参照)

厚生労働省障害福祉課では、各都道府県・指定都市・中核都市の主管課長や、全国規模の関係団

体に対してこの案に対する意見を求めています。

当協会でも意見を提出したいと考えています。

つきましては、平成15年12月25日(木)までに各役員、各支部のご意見を提出していただき、年明け早々にも協会としての意見をまとめられるようにいたしたいと考えていますのでご協力方よろしくお願い申し上げます。

ご意見はE-mail又はFaxにて協会事務局まで提出していただきますようお願い申し上げます。

会員紹介(療育部編)



はじめまして！我が家は、主人と私。ちびっ子剣士の長男(小5)。そして、笑顔の可愛い野生児“のんちゃん”がいる4人家族です。

のんちゃんは、今、地域の小学校(障害児学級所属)に通う2年生です。

ダンスとキラキラ光るモノが大好きな女の子！！

大の苦手な運動会もダンス目当てに頑張ったと言っても過言じゃないぐらいですから・・・ダンスを踊っている彼女は、とても堂々としていてイキイキしています。

昨年の運動会もキラキラ光るリボンを両手に持ち、一人で朝礼台の上で踊りました。

間違えることなく、照れることなく、最後まで笑顔で踊り、私の目を熱くさせてくれました。

将来はダンサーにでもなる気！？なんて思わせるような姿でしたよ。

集団生活が苦手な、強制されたり、かまわれる事を最もイヤがる、のんちゃん。

いつも、団体からひとりポツンと離れている彼女の姿を見てきた私は、感動を覚えました。

のんちゃんにとって、これから先ダンスだけでなく、1つでも多くの得意な分野が見つかるといいね。そして、楽しい人生が歩めるように、家族みんなで頑張るつもりです。

そのためには、私もめいいっぱい勉強しなくてははいけませんね！

P(^)q ファイト！！ 植村 泰子

自閉症協会近畿ブロック
NHK 障害福祉フォーラム担当者様

新年おめでとうございます。本年もよろしくお
願い致します。

近畿ブロック会議で次年度のNHK 障害福祉
フォーラムについて大まかなこととお話致しまし
たが、日程（予定）その他決まっておりますので
ご報告致します。

日時：平成 16 年 5 月 15 日（土）
10:00 ～ 16:30

会場：呉竹文化センター ホール
プログラム（予定）

10：00～12：30

講演 「高機能自閉症スペクトラムの概念と障害
特性の概観」（仮題）

講師 内山登紀夫氏

12：30～13:30 休憩

13：30～14：30

講演「教育現場での実践」（仮題）

講師 春田富貴子氏

14：30～14：15 休憩

14：45～15：45

講演「自閉症スペクトルだからこそ言えること」
（仮題）

（アスペルガー症候群のご本人）

15：45～16：00 休憩

16：00～16:30 質疑

16:30 閉会



チラシかできあかりましたら送らせていただきま
す。

大阪府支部 700 部（担当 井上さん）

兵庫県支部 500 部（担当 岩本さん）

奈良県支部 200 部（担当 田中さん）

和歌山県支部 300 部（担当 石橋さん）

滋賀県支部 （担当 桑島さん）

滋賀県支部は近畿ブロック会議に欠席されていま
したので、必要部数を京都府支部 事務所ま
でご連絡ください。

何かとお手伝いやご協力をお願いすることにな
ると思いますので、その節はよろしくお願ひ致し

ます。

自閉症協会京都府支部

事務局： 宮内賀永子

連絡先：支部事務所

TEL 075 - 813 - 5156

（月・水・金 10:00～15:00）

FAX 075 - 813 - 5157

事務局から

◎事務局から

（電話・FAX 0743-55-2763）

☆会員皆様にはお忙しいとは存じますが、7回
目の総会を迎える今年は、下記のセンターを創
ることができるかどうかという、これまでの支
部活動の集大成ともいえる、大きな節目でもあ
ります。今回は役員だけでなく、幅広く会員か
らの意見を頂戴したいと思いますので、呼びか
けとご参加是非お願いします。

●中心案件 「奈良県の自閉症・発達支援セン
ター設立に向けて」・第7回総会に向けて・会費
について・その他。

場所：平成16年1月17日（土曜日）

大和郡山市福祉会館 2階会議室

午後1時30分から5時30分

☆平成16年度政府予算編成について

平成16年度障害保健福祉関係当初内示の概要
資料が衆議院議員田野瀬良太郎氏から送られて
います。事務局にあり。

☆平成16年度奈良県心身障害者福祉センター
利用団体調整会議の開催

日時：平成16年1月29日（木）

午後1時30分～

場所 奈良県心身障害者福祉センター 研修室
利用計画記入用紙は事務局に届いています。

☆平成16年度の補助金事業等の申し込み（本部
からのもの）

※申し込みれば必ず当たるとは限りませんが、奈
良県支部として取り組みたいものをお知らせく
ださい。締め切り1月20日

○日本自転車振興会補助事業

・治療教育相談 1日の研修会 有料の会場を決
め、講師・専門指導員・検診補助員の謝金、交

通費しか出ません。看板（日本自転車振興会補助事業・治療教育相談会）を作成して写真が必要、また、講師の先生との面接相談の写真も必要です。

・**集団指導キャンプ**(1泊2日) 講師等の謝金は、決められた金額しかできません。児・者20名保護者20名、スタッフ14名が対象です。宿泊費は、7,150円以上の宿泊先を使用して下さい。交通費ですが、なるべく貸切バス等を使用して領収書ももらってください。救急用品の領収書は、かならず必要です。写真ですが、日自振の看板が必要になります。業者の領収書は、日付、但し書きを必ず記入

○**国庫補助事業**

・**保護者研修** 参加人数20名以上で対象経費は、講師謝金、活脚交通費、資料作成費、会議費、借料及び損料です。写真・看板必要です。

・**集団療育キャンプ**(1泊2日) 事業の開始、完了日が決まっております。参加対象及び人数は、障害児・保護者15名ずつで、講師、看護師、指導員等合計34名です。助成対象経費は、謝金、賃金、交通費、宿泊費、会場借料です。

・**国庫福祉相談** (相談員は、支部会員の親があたる場合は、支部役員の方をお願いいたします。) 相談、療育指導を行い、必要に応じて関係機関へ斡旋連絡をする。

※お分かりになりにくい点は、協会千代さんまでお問合せください。

☆**第4回支援費制度特別セミナー**

主催：社会福祉法人 全国社会福祉協議会

後援：厚生労働省

参加対象：都道府県・市町村担当職員・都道府県・市町村社協担当役員、社会福祉施設役員、相談支援事業担当者、利用者、家族、その他支援費制度に関心のある方

参加費：6,000円(昼食代は含みません) 宿泊・食事・申し込み案内は事務局

開催日：平成16年1月19日

会場：パシフィコ横浜(国立大ホール)

9:00 受付

説明講義：松尾武昌(全国社会福祉協議会) 行政障害者施設4団体 京極高宣、白澤政和 案内チラシ事務局にあり。

☆ **支援費制度辞典** 監修 京極高宣(日本社会事業大学学長) 初山泰弘(国際医療福祉大学大学院長) 特別価格2,362円送料サービス株式会社社会保険研究所

電話 03-3252-7901 FAX 03-3252-7977
申し込みちらし事務局にあり。



お詫び

12月号の絆に記載させていただいた2004年1月25日(日)「エイブル」上映会の問い合わせ先もれ、上映会場の住所間違いがあったことをお詫びいたします。

日時2004年1月25日(日)

午前の部11:00~12:40(10:30会場)

午後の部14:00~15:40(13:30会場)

場所ならまちセンター市民ホール

住所奈良市東寺林38(猿沢池を南へすぐ)

Tel0742-27-1151~3

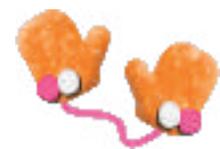
問い合わせ先…

オープンスペースあゆみ(準備会事務局)

Tel0742-53-0511

Fax0742-53-0512

療育部金本



編集後記

新年おめでとうございます。暖かな年末年始でいた。本当にこれでいいのかな。霜柱、氷、白い息は、どこに行ったのでしょうか。支部ニュースについての感想、ご意見等がありましたら、穴戸(0742-49-3855)までか、または、最寄りの支部役員までお願いします。